

平成26年度事業報告書

I 総括

「アートを通して障がい者の雇用促進を目指して」……

このフラッグのもとNPO法人サポートセンターどりーむが発足して6年が経過しようとしています。

この間、会員、役員の皆様の絶大なるご支援のもとアートプロジェクト事業、従来から続けている「ゆめつばさコンサート」、また、すべての活動の起源である「わんぱく学園」などを順調に展開できたことを感謝いたします。

アートプロジェクト事業の最終目標は、アートの利権ビジネスの確立による、障がい者の持続的な生活支援です。ようやく、チャレンジドアート（障がい者アート）の魅力が世に知れて段階までできました。次年度のエキスポで、一気に浸透させたいと思っております。

また、経営の安定のために利用者数、会員数の確保などで課題もあり、経営基盤の強化の必要性も課題となりました。

【組織の状況】

① 平成26年度末会員数

正会員	賛助会員	団体会員	計
80	34	0	114

② 理事数・理事会開催数

理事 7人 監事 2人

理事会開催数 3回

II 事業実施の成果

A) B型就労継続支援“わんぱく大使館”事業

① 利用者数：20名

定員20名に対し、定員通りの利用者を確保できた。

しかしながら、利用者の精神的、物理的な問題から、休む利用者も多く、未だに、安定が望まれる。

② 美術展の開催：総計11回 動員数約1000名

[内訳]

VIVA平田 4月 木綿街道 5月 出雲ハートフルバザー7月

平田祭り 7月 一畑D 9月 サンチェリバ 9月 大社うらら館10月

雲南市立病院 9月 エキスポ10月 いわみーる11月～12月
日本橋しまね館 1月

③ 関連商品の開発・販売：

アートファイル、大好評で、@500x500SET完売
雲南市役所148セット購入、他多数の協力者によって完売。
県のすすめる“ゆめゆくワークサポート事業”の交付金によって、プレス 機
材などを導入できたため、新たな商品開発が可能になり、Tシャツ、トート
バッグを商品化、新たな販売アイテムとなった。

③ ゆめのつばさ事業

第7回ゆめのつばさコンサートを平成26年10月25日、松江市イングリッシュ
ガーデン多目的ホールで開催した。120名の方にチケット購入をいただき県内のア
ーティスト9団体が楽曲を披露した。

また、CD7thアルバムを制作し、112枚販売した。

④ わんぱく学園事業

出雲市からの委託を受け、「わんぱく学園」事業を実施した。学園は、毎週1回を原
則に年間39回開催、延べ301人の障がい児(者)が参加した。

Ⅲ 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 日 時	実施 場 所	従事者人数	受益対象者の範 囲及び人数	支出額(千円)
障害者の感 性を生かし た音楽・芸 術創造事業	障がい者の自立を支援す る県内アーティストのC D制作販売を行った。	26年 10月	松江市	10人	販売数 112枚	127
	障がい者の自立を支援す る県内アーティストと障 がい者によるコンサート 「ゆめのつばさコンサ ート」の開催した	26年 10月	松江市 イング リッシ ュガー デン	15人	市民180人	74

障害者の情報共有、相談、ネットワークに関する事業	県内の障がい者グループとの情報交換や相談の充実を図り、県内アーティストを含めた自立支援ネットワークを構築する。	今年度は実施していません。				
共生のまちづくりの普及啓発に関する事業	障がい者をはじめとする全世代の人が交流する「音楽サロン」や研修会を開催する。	今年度は実施していません。				
	「わんぱく学園」を開催し、障がい者（児）の育成を図った。（出雲市委託事業）	26年 4月から 27年3月	平田地 域	7人	301人	300
福祉サービス	就労継続支援B型事業所	26年 4月から 27年3月	出雲 松江 地域	7人	21人	
相談支援	就労継続支援B型利用者へのサービス向上	申請中				
その他この法人の目的を達成するための事業		今年度は実施していません。				

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数	支出見込み 額(千円)
障がい者支援のコンサート等イベント各種のチケット販売に関する事業	今年度は実施していません				
県内アーティストのコンサート企画、斡旋に関する事業	今年度は実施していません				